

2026年5月19日

各 位

会 社 名 株式会社 Birdman
代 表 者 名 代表取締役社長 吉川 元宏
(コード番号: 7063 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 國松 晃
(TEL 03-6865-1322)

AI 特化型高性能データセンター開発プロジェクト（6社連合）と KAYTUS JAPAN 株式会社との業務提携に関する基本合意書（MOU）締結のお知らせ

～国内における AI 基盤となる高性能データセンターの提供を目指して加速します！～

当社は、AI 特化型高性能データセンターの開発および運営を目的とした共同プロジェクト（以下、「本プロジェクト」という。）に関し、インフラストラクチャ製品・ソリューションのグローバルプロバイダーである KAYTUS JAPAN 株式会社（東京都千代田区大手町二丁目6番4号 代表取締役 田 暁魯 以下、「KAYTUS 社」という。）との間で、本日付で業務提携に向けた基本合意書（MOU）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本 MOU は、当社がパートナー各社を代表し、2026年5月中を目途に設立を予定している合弁会社「AI Data Partners（仮称）」（以下、「本合弁会社」という。）との将来的な提携を前提に締結されたものです。



1. 本 MOU 締結の背景と目的

本プロジェクトは、abc 株式会社、ReYuu Japan 株式会社、株式会社イメージワン、ウインテスト株式会社、株式会社 FD に加え、2026年5月18日付 PR 情報「[AI 特化型高性能データセンター開発プロジェクトへの株式会社 Birdman の追加参画（6社体制への移行）に関するお知らせ](#)」で公表したとおり、追加参画を合意した当社を含む、計6社の強みを結集した国内最大級の AI インフラ構築プロジェクトです。

KAYTUS 社は、クラウド、AI、エッジコンピューティング等の領域向けに、サーバー製品を含む IT インフラ製品・ソリューションを提供する KAYTUS Systems Pte. Ltd. の日本法人であり、AI・HPC（ハイパフォーマンスコンピューティング）領域に特化した高性能 GPU サーバーを提供する次世代インフラベンダーである同社は、最新世代の高性能 GPU を最大限に活用するための筐体設計、冷却・電源設計、システムアーキテクチャに強みを持ち、大規模 AI 学習や推論処理に求められる高密度・高効率・高い安定性を実現しています。

特に、AI ワークロードを前提としたサーバー設計思想により、GPU の性能を引き出すスケーラビリティと信頼性を両立しており、データセンター運用における電力効率や拡張性の面でも優位性を有しています。国内では、大手インターネット企業への大規模な GPU サーバー納入実績を有しており、その高い拡張性と信頼性により、エンタープライズから先端技術開発を行う企業まで、次世代 AI 基盤を支えるパートナーとして事業を展開しています。

本件プロジェクトにおけるパートナー各社のうち、イメージワン社は 2026 年 1 月に医療・環境分野での AI 活用において、また ReYuu Japan 社は 2026 年 5 月に AI インフラのライフサイクル（リユース・更新）領域において、既に KAYTUS 社とそれぞれ個別の提携を発表しております。

この度、本プロジェクトを主導する本合弁会社が KAYTUS 社と包括的に連携することで、これまでの個別の知見を統合し、データセンターの設計・構築から、高性能サーバーの調達、運用、保守、そして機材のライフサイクル管理までをワンストップで提供する、圧倒的な競争力を備えた AI 基盤の実現を目指します。

本合弁会社の設立により、新たな収益基盤の確立と、日本の生成 AI 市場の発展への寄与を加速させてまいります。

2. 本 MOU に基づく主な検討内容

本合弁会社および KAYTUS 社は、以下の事項について具体的に協議を進めてまいります。

➤ 次世代 AI 計算基盤の構築

KAYTUS 社の高性能 GPU サーバー、液冷技術、および「MotusAI」等のプラットフォームを活用したデータセンターインフラの最適化。

➤ 安定的な機材供給体制の確保

国内 10 拠点の展開を見据えた、サーバー・ネットワーク機器等の優先的かつ安定的な調達スキームの構築。

➤ ライフサイクルマネジメント

ReYuu Japan 社の知見を活かしたサーバー更新・入替に伴うリユース・再流通プロセスの統合。

➤ 特定分野へのソリューション展開

イメージワン社の医療画像・地球環境 AI 等、高度な計算リソースを必要とする事業への優先提供。

3. 今後の見通し

各領域のトップランナーが集結し、グローバルリーダーである KAYTUS 社との強力なパイプが確立されたことで、本プロジェクトが掲げる目標の実現に向けた確度は飛躍的に高まったものと考えております。

なお、本 MOU 締結による当連結会計年度の業績への影響は軽微です。本合弁会社の設立および事業の進展により、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。